

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		アプリ児童デイサービス高島平		公表日		R7年3月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0		児童の成長や障害特性を鑑みると、既定のスペースは設けていても足りないと思ってしまう。もっと広げれば療育の幅をさらに広げられる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0		既定よりほかなり多く配置はしているものの、障害特性を鑑みると職員のケガのリスクなどもあり、もっと職員を増やしたく思う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0		開閉ドアには危険ゾーンの赤じゅうたんの印などで工夫している。玄関とトイレに段差が生じているが、職員の補助にてカバーしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0		本当に全員が清掃と消毒、整理整頓に力を入れている。空間は都度考え個別机を配置したり導線の見直しを日々行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0		パーティション等を使用し落ち着けるスペースを確保する事が出来るようになっている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0		見直しして、アイデアを出し、実行して、皆で支援策を練る。常に会議にて実行している
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		会議にて共有しみなで対策を考えています。多くの意向を知り、出来る限り寄り添った施設であるため、職員間の共有、共に考える時間を会議などに設けています
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		施設長との個人面談然、会議にて話し合いや意見を行う頃の場を設けています。また、新卒などに関してはマニュアルをもった意見交換の場も儲けさせていただいています
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1		数種類の監査等があり、非常に緊張しますが、いつもの自分たちの支援に間違いはないか、また新たな目線でみる機会として嬉しく受け止めています
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0		毎回会議や研修委員会など大変ですが、学べる機会が多い事は非常に嬉しい事と思っています
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		全部のプログラムを把握しお粉合う事が非常に大変ではありますが、それぞれの成長を考えるとめれなく行いたく一生懸命覚えて実行してます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0		半年に1度、各ご家庭と面談し面談記録を共有している。また面談前と面談後に職員間で最近の児童の様子、ご家庭と共有したいこと等を相談している
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0		面談の前に確認してほしい事項や今の現状などを伝える機会がある。また、すぐに共有し職員がおこなう出来たよカード等に反映している
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0		定められたフォーマットを使用し作成しています。新規・更新時に全職員に共有し確認印をいただいています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0		定められたフォーマットを使用し作成しています。また日々の行動観察などをもとにご家族と話し合い家庭や学校の状況も踏まえアセスメントを行っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		放課後等デイサービス計画に「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」記入欄を儲け一目でわかるな計画書となるよう配慮している。設定された項目については「できたよカード」というシールを貼る確認カードを使用し来所ごとに長期目標と短期目標を理解し一日の支援を行う事が出来、進捗も確認できるツールを使用し確認している

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	・チームより1部の職員で話をして立案	各児童の活動プログラム、日々のタイムスケジュール等に関しましては今がゴールではありません。月1の職員会議にて立案、見直しを行ってまいります。よりチーム力を高めより良い施設となるよう努力します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		現在は週間にてレクの変更を行っています。それぞれのレクの目的や意味を考慮し、有意義な時間となるように行っておりますが、より良くなるよう、常に話し合い更にいい物にして行きましょう
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		個別計画では必ず個別の目標と集団での目標を定め、1日のスケジュールの中に個別で行うチャレンジの時間と、集団で行うレクの時間を設けて支援している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0		朝礼といった形をもって行っている。昨日からの引継ぎを含め、当日予定、翌日予定、安全運転の確認、職員配置など内容は多岐に及ぶ。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3	・朝礼は行っているが、送迎時間の問題上、その日のうちに振り返りはできていない	支援開始前の朝礼で職員間の打ち合わせを行っています。当日役割分担表、本日のスケジュール確認、前日の引継ぎ、意見交換を行うと共に運転ルートの注意点、月の目標などの確認も行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		各ご家庭との連絡帳に毎日記入しています。排尿、排便の時間、水分摂取時間、活動内容、施設からの連絡等、多項目。、ご家庭の捺印後、施設にて5年間保管し、支援を振り返れるものとなっています。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		半年に一度ご利用者様のご家族と面談を行うと共に、同じく半年に1回、学校と相談支援員との意見交換を行っている。モニタリング記録に関しては、全職員が確認し確認印を押しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	1	・曜日によって時間があまりなく出来ない事もある	行っている支援の中核は全てガイドラインによるもの。ガイドラインは各職員に配布している。また、施設研修会にて年に1度共有する時間を作っている。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0		自由時間に自己選択出来る支援を行い、集団レクにて行わなければいけない事を行う事によってメリハリをもった支援を行っている。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		管理者と児童発達支援員、施設長が参加。状況に応じて児童指導員も一緒に参加する場合があります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		既定に沿い、提携医療機関を設け、学校、相談支援事業所、他事業所との連携を持って支援を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0		学校より年間スケジュール、また学校によっては定期的な説明会を開催している為、職員が参加し共有に努めている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	0		年に数回来所していただき、情報共有をしている園もあり。その他の園は相談支援事業所を通じ、伝達があった場合のみ行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0		卒業生の進路によって異なりますが、就業先、または進学先にて必要とされた場合に限り、情報を共有している
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	0		板橋区事業所連絡会会議にて、専門職員から研修やお話を頂く機会があります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	5	・施設に通う利用者与其他の子どもの差が大きく、なかなかできていない ・ニーズに応じて機会を設けたいが現状要望もない	以前は行っていたが、コロナ以降控えている状態。今後何晏しては慎重に検討する事が必要と考えられる。

	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1		板橋区事業所連絡会また、東京都による連絡会などに参加し、決定事項に関しては朝礼や連絡帳にて共有しています。コロナ以降あまり参加する機会がないのも現状です。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・送迎時、保護者の方と顔を合わせる事はない児童も面談の機会を通して行う	連絡帳にて日々の活動と状況を伝えると共に、送迎時対面にて様子を伺い、課題についての進捗伝えている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3	・ニーズがあれば行いたい	児童の特性に合わせ、ショートステイ利用の提案、またお母様などの体調に合わせ、相談窓口への紹介等、ケースに応じ行っております。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		契約時に行っている。また解らない点に関しては随時受け付け返答を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		ご家族に意向、学校、家庭、施設での現在の様子を鑑み、ご家族と話し合いの元制作。面談は半年に1度となっているが、臨機応変に期間を待たず希望によっていつでも行う事が出来る。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		説明の上、間違いや変更などがあれば、すぐに訂正し再度説明し了承を得て制作しています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		随時行っております。また、保護者様からの要請がない場合でも、半年に1度、個別面談の時間を設けさせていただいております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	6	・保護者会等は行っていない	以前は施設内イベント等へご家族の見学を促し保護者同士の連携を図る機会も作っていましたが、コロナ以降、感染症のリスクもあり、見学禁止とはしないまでも、大きく告知する事は控えています。方法を変えた連携ができればと考えています
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		随時受付、迅速に対応しています。また、施設の「ご利用相談」「苦情窓口」を備え、契約書に記入し節女を行っている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1	・個人情報の観点から、SNS等の利用は難しく出来ていない	定期的な会報などの配布は行っていないが、不定期にて必要情報の折込を連絡帳に挟み込む事で情報発信を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		個人情報は全て事務所内の鍵付き書庫に管理、また掲示物も最新の注意をはらっている。療育に必要な道具の名前のみ東京都との相談のもと使用。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		現在はケースに応じ出来る範囲にて電話・メール・対人にてそれぞれ対応している。保護者様、職員のお互いの負担の間を取りお互いストレスがないよう話し合いにて配慮の範囲を広げられたらと思っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5		以前は敬老の日に近隣の老人施設の利用者等を招待したり、地域のフラダンスサークルや民謡会の演奏や踊りの鑑賞会を行っていた。コロナ以降は慎重となり行っていないが話し合い今後について決定したい。
非 常 時 等	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		研修等も非常に多く、年間何度もマニュアルの読み合わせや意見交換を行っている。職員の負担は否めないが、非常に重要な事柄である事を理解し、より深く今後も情報共有していきたい。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		毎年2月、6月、10月の年に3回行っています。何度行っても十分とはいえず、毎回、職員から新しい問題点やアイデアがでてくる。より安全を期した訓練ができるよう、準備を進められればと思います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0		契約時に確認し共有を行っている。また、投薬の変更等は随時、会議、朝礼、連絡ノートを使用し共有を図っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		保護者様を介して、医師からのアレルギー診断を把握しています。面談記録への記載はもちろん、見える化とし、給湯室へのアレルギー表の掲示を行っている。

の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		定められたフォーマットにより計画を作成、車内にて定められた日程にて研修と訓練を行っている
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		契約時、また半年に一度の面談にて内容をお伝えしている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		毎月、各職員、必ず最低一枚の提出としています。提出して頂いた書面に関しては、施設長または管理者の意見記入後、職員全員に共有し、月一回の会議検討を行い改善に努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		虐待については研修と委員会にて学べる機会がある。またマニュアルを使用し常新しい情報で最善の方法が取れる様に常に努力を行っている
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0		内容、方法等と共に共有されている。また記載、方法についても正しい手順で行っている